

藤井寺市交通バリアフリー基本構想

【土師ノ里駅・道明寺駅周辺地区】

平成20年11月

藤 井 寺 市

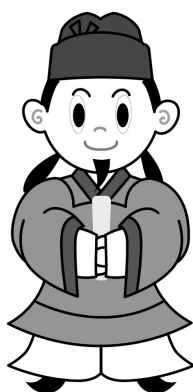
目 次

1 . 基本構想策定の主旨と経緯	1
2 . 土師ノ里駅・道明寺駅周辺地区の状況	2
1) 上位計画による当地区の位置づけ	2
2) 主要施設の分布状況	5
3) アンケートにみる主要施設の利用状況	6
4) 鉄道の利用状況と整備状況	8
5) バスの運行状況	9
6) 土師ノ里駅・道明寺駅への交通手段	10
7) 地区の人口・高齢者数	11
8) 身体障害者数	12
9) バリアフリー化検討のための視点の整理	12
3 . 基本理念と基本方針	13
1) 基本理念	13
2) 基本方針	13
3) 地区方針	15
4 . 重点整備地区・特定経路の設定	16
1) 重点整備地区の区域の考え方	16
2) 重点整備地区の位置および区域	16
3) 歩行空間ネットワークの特性	18
4) 特定経路の設定	20
5 . 歩行空間の問題点・課題	23
1) 現地点検調査（タソワッチング・ワークショッ [°] ）	23
2) 現地点検による問題点のまとめ	25
6 . 特定事業の設定	29
1) 公共交通特定事業について	30
2) 道路特定事業について	33
3) 交通安全特定事業について	35
4) その他の事業について	36
7 . 今後の進め方について	37

資料編

1 . 藤井寺市交通バリアフリー基本構想検討委員会委員名簿	1
2 . 基本構想（案）に関するパブリックコメント	2
3 . 高齢者,身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の 円滑化の促進に関する法律	3

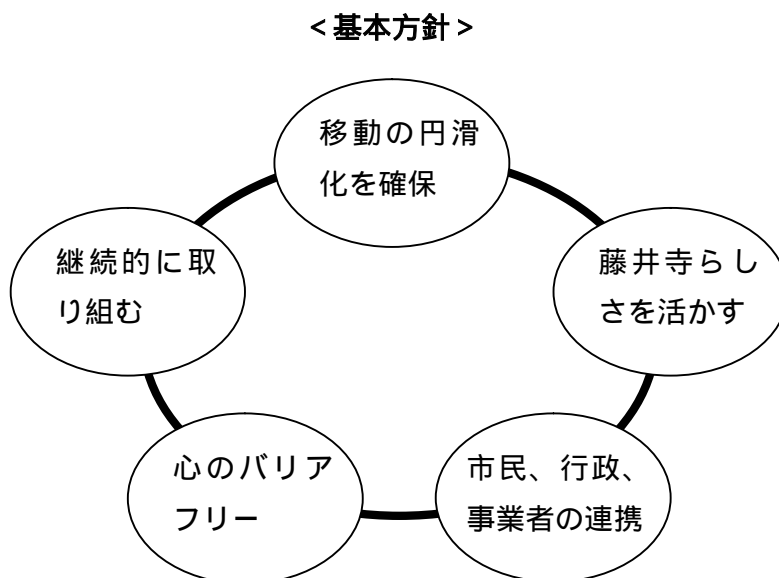
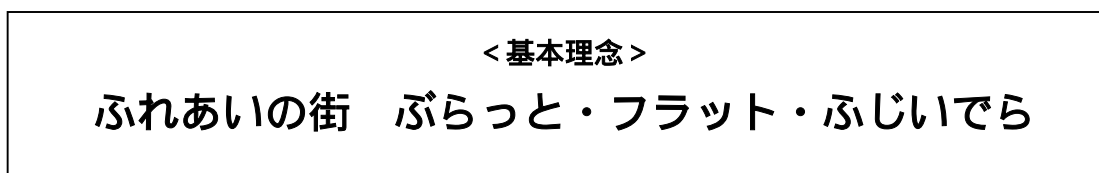
いの
まなり
井真成



1. 基本構想策定の主旨と経緯

平成 27 年(2015 年)には国民の 4 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者となる本格的な高齢社会を迎え、また、身体障害者をはじめ誰もが社会参画できる社会を実現することを目指し、平成 12 年 11 月に「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律(以下「交通バリアフリー法」という。))が施行されました。各市町村においても、公共交通機関を利用した移動の円滑化を進めるため「移動円滑化に係る事業の重点的かつ一体的な推進に関する基本的な構想」(以下「基本構想」という。))を作成し、旅客施設に加え、その周辺の移動経路を構成する道路、駅前広場等について一体的にバリアフリー化されたまちづくりを進めています。

藤井寺市においても、近鉄「藤井寺駅」を中心とした地区において「藤井寺市交通バリアフリー基本構想」を平成 15 年 2 月に策定し、その中には、交通バリアフリーを推進するための「基本理念」および「基本方針」が次のように示されました。

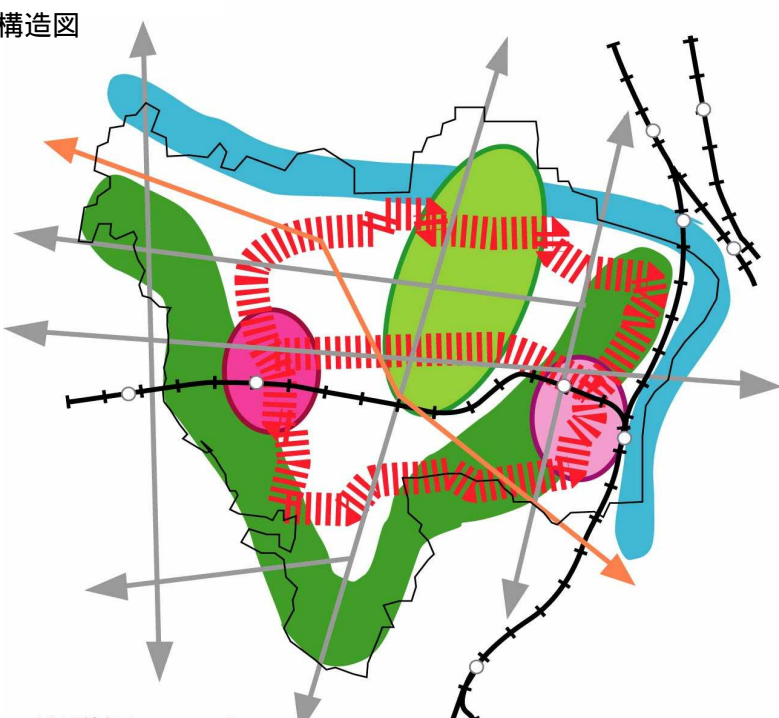


今回は、引き続きその「基本理念」と「基本方針」を踏まえながら、近鉄「土師ノ里駅」と「道明寺駅」を中心とした当地区の特性を反映させるとともに、土師ノ里駅周辺の改良整備事業を見込んだ 5 年後の状況を想定して、バリアフリー化を重点的・一体的に推進するための「基本構想」を策定するものです。

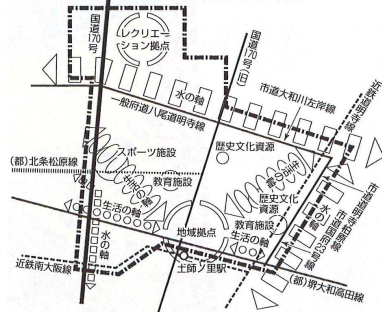
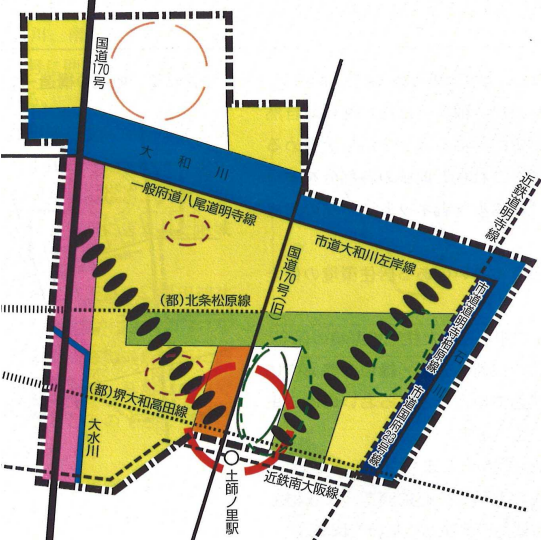
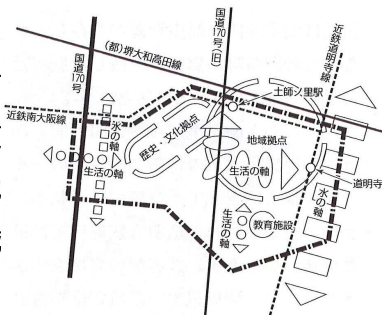
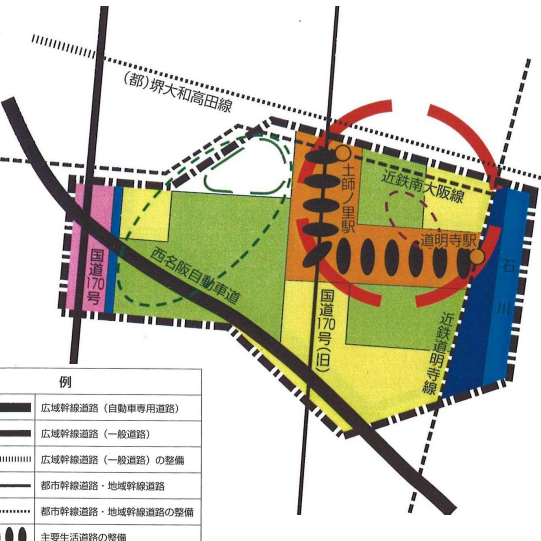
2. 土師ノ里駅・道明寺駅周辺地区の状況

1) 上位計画による当地区の位置づけ

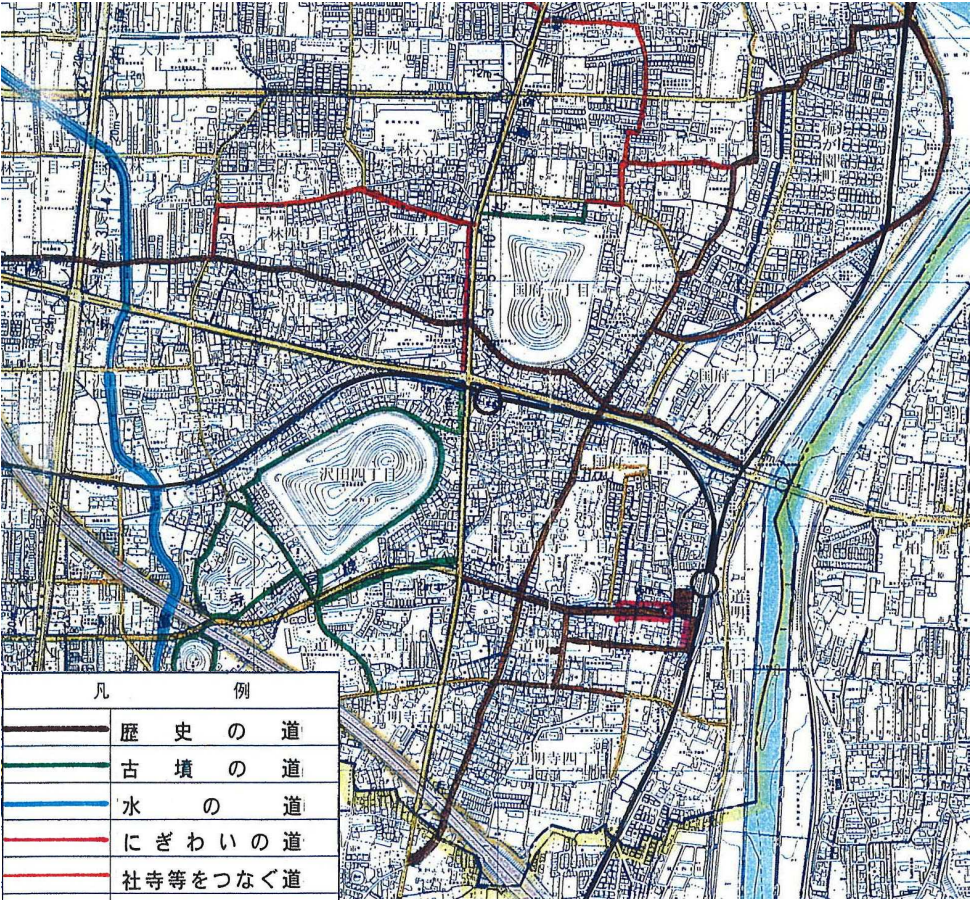
第四次藤井寺市総合計画

総合計画の基本目標 (全市)	● 藤井寺市の将来像：「安全・安心と歴史を未来に引き継ぐまち藤井寺」 ～地域とともに創り・育み・歩むまちをめざして～ ● まちづくり目標： 参加と協働のまち 安全で快適なまち 安心と共生のまち 活力を育むまち 個性が光るまち ● 人口目標：(平成27年度)約65,000人 (平成17年国勢調査：65,774人)
都市を支える骨格 (都市構造)	● 市のイメージ：「良質な住宅都市」 ● 市のまちづくりの基本方向：<u>新しい生活環境都市の実現</u> このイメージや基本方向を実現するため、「コンパクト・シティ」の考え方を踏まえた「生活者サイズの都市構造」(自動車に頼らなくても、徒歩や自転車などで、市民が十分快適に暮らせる都市構造)の確立を目指す。 ● <u>土師ノ里駅・道明寺駅前＝「やすらぎゾーン」</u> 土師ノ里駅・道明寺駅前の「やすらぎゾーン」では、允恭天皇陵や仲津姫皇后陵、道明寺天満宮、道明寺などの歴史的資源を保全・活用するとともに、移転が予定されている市民病院の跡地や工場跡地などの利活用を進め、世代間の交流、住民間の交流、観光客との交流などを通じ、やすらぎとふれあいを享受できる環境づくりを目指す。 ● 将来都市構造図  <生活情報ネットワーク> にぎわいゾーン 生活・歴史回廊 緑回廊 やすらぎゾーン いきいきゾーン 水回廊(大和川、石川) <基幹交通ネットワーク> 基幹交通網(自動車専用道路) 基幹交通網(一般道路) 基幹交通網(鉄道)

藤井寺市都市計画マスタープラン

全体構想 将来都市構造パターン	●いこい核（東の都市核） ・土師ノ里駅周辺と道明寺駅周辺の連携を「道明寺天満宮」をポイントとし、地域中心としての機能とともに本市の個性を表現する場としての機能向上を目指す。 ・ふるさとをイメージする「いこい」の核としてその機能の充実を図る。																						
地域別構想	●北東地域 ・豊かな自然環境と豊富な文化環境やレクリエーション資源、良好な住宅地環境の融合したうるおいのあるまちづくりをめざす。 ●南東地域 ・門前町等の歴史的雰囲気を活かしたまちの居住環境の向上と商業・業務機能の利便性の高い都市機能の維持・増進を図り、活気のあるまちづくりをめざす < 地域の構造 >  北東地域 < 地域整備の方針 >  南東地域   <table border="1" style="margin-top: 20px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>凡</th><th>例</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 低層住宅専用ゾーン</td><td> 広域幹線道路（自動車専用道路）</td></tr> <tr> <td> 中低層住宅ゾーン</td><td> 広域幹線道路（一般道路）</td></tr> <tr> <td> 住商複合利用ゾーン</td><td> 広域幹線道路（一般道路）の整備</td></tr> <tr> <td> 沿道複合利用ゾーン</td><td> 都市幹線道路・地域幹線道路</td></tr> <tr> <td> 商業・業務ゾーン</td><td> 都市幹線道路・地域幹線道路の整備</td></tr> <tr> <td> 行政・文化ゾーン</td><td> 主要生活道路の整備</td></tr> <tr> <td> 都市型工業ゾーン</td><td> 鉄道</td></tr> <tr> <td> リザーブゾーン（土地利用方針・手法検討ゾーン）</td><td> 地域の中心市街地の整備</td></tr> <tr> <td> 公園・緑地等</td><td> 良好な住宅地の環境保全・育成</td></tr> <tr> <td> 河川</td><td> 密集市街地の整備</td></tr> </tbody> </table>	凡	例	低層住宅専用ゾーン	広域幹線道路（自動車専用道路）	中低層住宅ゾーン	広域幹線道路（一般道路）	住商複合利用ゾーン	広域幹線道路（一般道路）の整備	沿道複合利用ゾーン	都市幹線道路・地域幹線道路	商業・業務ゾーン	都市幹線道路・地域幹線道路の整備	行政・文化ゾーン	主要生活道路の整備	都市型工業ゾーン	鉄道	リザーブゾーン（土地利用方針・手法検討ゾーン）	地域の中心市街地の整備	公園・緑地等	良好な住宅地の環境保全・育成	河川	密集市街地の整備
凡	例																						
低層住宅専用ゾーン	広域幹線道路（自動車専用道路）																						
中低層住宅ゾーン	広域幹線道路（一般道路）																						
住商複合利用ゾーン	広域幹線道路（一般道路）の整備																						
沿道複合利用ゾーン	都市幹線道路・地域幹線道路																						
商業・業務ゾーン	都市幹線道路・地域幹線道路の整備																						
行政・文化ゾーン	主要生活道路の整備																						
都市型工業ゾーン	鉄道																						
リザーブゾーン（土地利用方針・手法検討ゾーン）	地域の中心市街地の整備																						
公園・緑地等	良好な住宅地の環境保全・育成																						
河川	密集市街地の整備																						

藤井寺市歴史街道マスタープラン

回廊の基本的構成	「東高野シンボル軸」上の「道明寺拠点」														
シンボル軸拠点等の形成方針	●道明寺拠点 ・昔ながらの門前町のイメージを大切にしたい落ち着いた雰囲気の形成を目指す。 ・駅—道明寺・道明寺天満宮—東高野街道を結ぶ区間で、道明寺・天満宮の歴史文化を大切にしたいまちづくりを行う。 ・都市計画道路をはじめとして、求められる交通機能と整合を図りつつ、面的に歩けるまちづくりを行う。 ・道明寺の歴史的な背景や鳥居等の歴史文化資源、残る沿道の街並みも活用した道路空間整備を行う。 ●東高野シンボル軸 ・沿道に古い町並みや祠が残る区間、高安山系の山並みが見える区間等を中心に、「(旧)街道らしい人の流れの再生」を目指した整備を進める。 ・具体的な整備にあたっては、いくつもの市を結ぶ街道であることを考慮して、羽曳野市整備区間との連続性を留意しつつ、沿道の街並みと調和した道路空間整備を進める。 ・次世代に引き継ぐべき社寺や古い街並み、祠や道標等の歴史文化資源を活かしたポケットパーク整備等を進める。														
歴史街道ネットワークルート	「歴史の道」：東高野街道、都市計画道路・道明寺北宮線等  <table border="1" data-bbox="411 1731 751 2022"> <thead> <tr> <th>凡</th><th>例</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>歴史の道</td></tr> <tr> <td></td><td>古墳の道</td></tr> <tr> <td></td><td>水の道</td></tr> <tr> <td></td><td>にぎわいの道</td></tr> <tr> <td></td><td>社寺等をつなぐ道</td></tr> <tr> <td></td><td>その他の主要な自転車・歩行者ルート</td></tr> </tbody> </table>	凡	例		歴史の道		古墳の道		水の道		にぎわいの道		社寺等をつなぐ道		その他の主要な自転車・歩行者ルート
凡	例														
	歴史の道														
	古墳の道														
	水の道														
	にぎわいの道														
	社寺等をつなぐ道														
	その他の主要な自転車・歩行者ルート														

２）主要施設の分布状況

市内各駅周辺の主要な施設の分布状況は以下のとおりです。藤井寺駅周辺には、市役所、保健センター、市民総合会館、アイセルシュラホール（生涯学習センター）など全市的な利用の見込まれる公共施設が多数立地しています。

土師ノ里駅周辺には、市役所支所、市民総合会館分館、駅前駐輪場のほか古墳等が多数立地し、道明寺駅周辺には、市民病院、石川河川公園等が立地しています。また、土師ノ里駅と道明寺駅の間には道明寺天満宮、道明寺が古くから存在しています。

主要施設分布状況

区分	(参考)藤井寺駅周辺	(中間地点)	土師ノ里駅周辺	道明寺駅周辺
官公庁施設	市役所 生活プラザ		支所 (市民総合会館分館)	
医療福祉施設	市立保健センター 府立藤井寺保健所 社会福祉法人みささぎ会 社会福祉法人賀光会		市立老人福祉センター 松水苑	市民病院 総合福祉施設どうみ ようじ高殿苑
文化交流施設	市民総合会館 アイセルシュラホール (生涯学習センター)	市立図書館	市民総合会館分館	
スポーツ施設		市立林テニスコート 市立市民総合体育館 市立市民水泳プール 市立スポーツセンター 青少年運動広場		大和川河川敷運動広場
大規模公園	ブクンダ公園			石川河川公園
公共駐輪場	藤井寺駅前駐輪場		土師ノ里駅前駐輪場	
寺社	葛井寺 辛国神社		道明寺天満宮 道明寺	道明寺天満宮 道明寺
古墳	仲哀天皇陵		仲津山陵 允恭天皇陵 三ツ塚古墳 古室山古墳	

3) アンケートにみる主要施設の利用状況

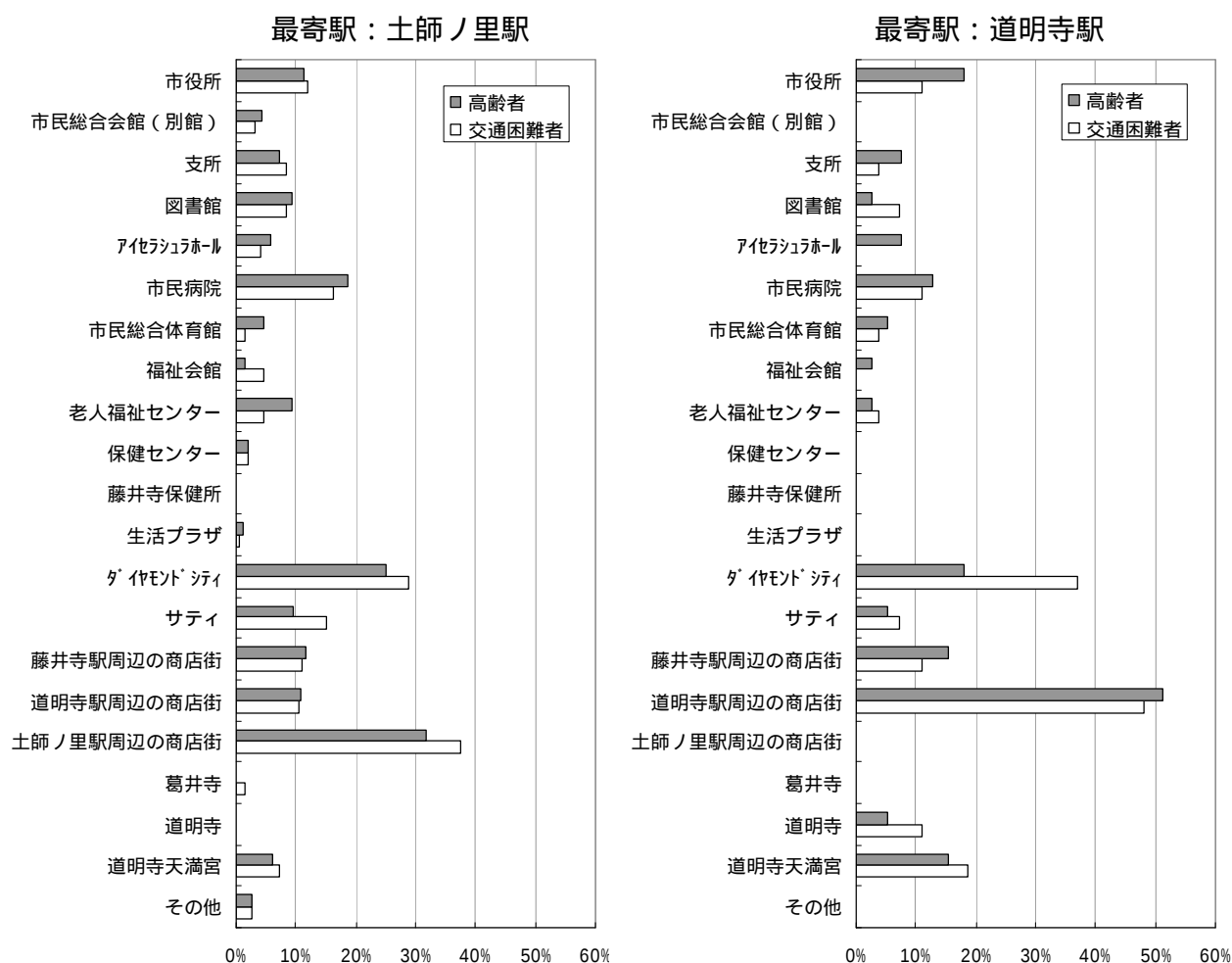
平成14年度の「藤井寺市交通バリアフリー基本構想」策定の際に実施した「アンケート調査」の結果をみると、土師ノ里駅と道明寺駅を最寄駅とする高齢者（土師ノ里駅258人、道明寺駅39人）と交通困難者（土師ノ里駅152人、道明寺駅27人）における主要施設の利用状況は、以下のとおりです。（高齢者とは65歳以上の回答者を言い、交通困難者とはアンケート調査票において「外出時に疲労や負担、困難を感じる」と回答した人となっています。）

よく利用する施設

土師ノ里駅を最寄り駅とする高齢者、交通困難者にとって、最もよく利用するのは「土師ノ里駅周辺の商店街」で、次いで「ダイヤモンドシティ」、「市民病院」の順です。藤井寺駅周辺にある「市役所」や「商店街」もある程度利用されています。また、「支所」よりも「市役所」の方が幾分多く利用されています。

道明寺駅を最寄り駅とする高齢者、交通困難者にとって、約5割の人が「道明寺駅周辺の商店街」を利用しています。次いでは藤井寺駅周辺の「ダイヤモンドシティ」、「市役所」、「藤井寺駅周辺の商店街」の利用が多くみられます。また、比較的近くにある「道明寺天満宮」や「道明寺」もある程度よく利用されています。

<よく利用する施設>



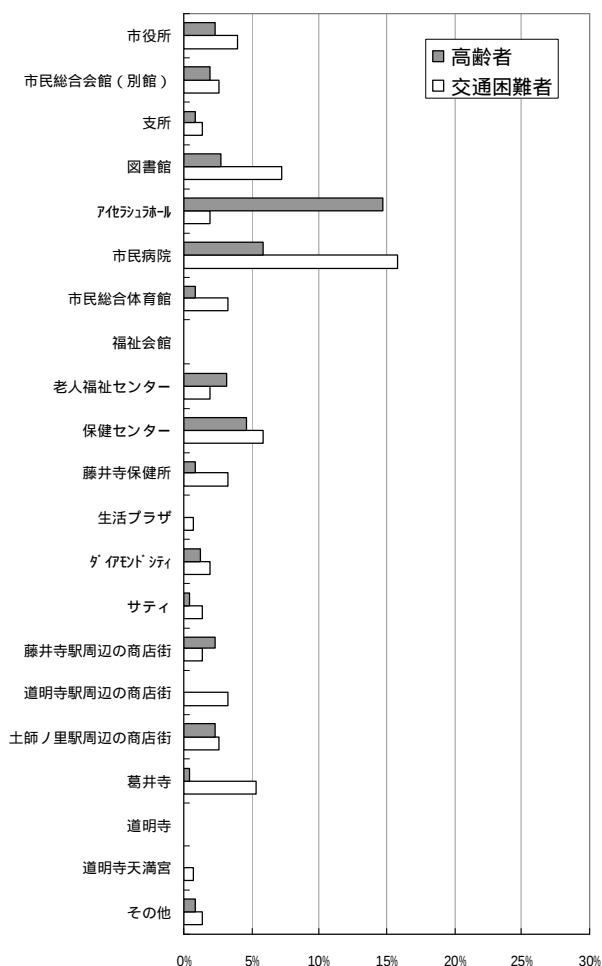
交通が不便で行けない又は行くことに困難を感じる施設

土師ノ里駅を最寄り駅とする交通困難者にとって、交通が不便・困難な施設としては「市民病院」が最も高く、次いで「図書館」、「保健センター」の順です。また、高齢者にとっては「アイセラシュラホール」が特に高くなっています。

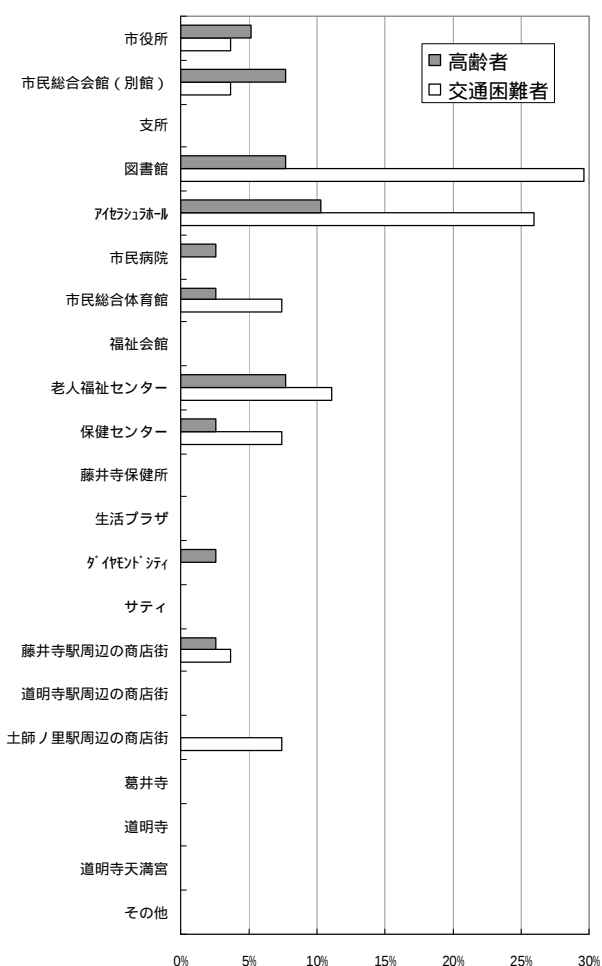
道明寺駅を最寄り駅とする交通困難者にとって、交通が不便・困難な施設としては「図書館」と「アイセラシュラホール」が特に高く、次いで「老人福祉センター」、「市民総合体育館」、「保健センター」があげられています。また、高齢者にとっては「アイセラシュラホール」、「図書館」、「市民総合会館（別館）」、「老人福祉センター」が同程度にあげられています。

< 交通が不便で行けない又は行くことが困難な施設 >

最寄駅：土師ノ里駅



最寄駅：道明寺駅



4) 鉄道の利用状況と整備状況

土師ノ里駅と道明寺駅の乗降客数は、減少傾向にあります。道明寺駅においては、下記以外に道明寺線から阿部野橋方面への乗り換え客がいます。

土師ノ里駅は、国道交差点からは地上と同じレベルに改札がありますが、地盤からは橋上駅となっており、改札とホームとの高低差があります。現状ではエレベーターが設置されていませんが、現在、駅舎改良と駅前広場整備が計画されており、これに伴いバリアフリー化が図られる予定です。

道明寺駅は、地上駅舎であり、改札のある阿部野橋方面行きホームについては上下移動が必要ありません。檀原神宮方面行きのホームについては、ホームの南端に身障者用の通路（スロープ）が設置されていますが、エレベーターは未整備な状況です。

土師ノ里駅・道明寺駅の利用状況とバリアフリー化状況

		土師ノ里駅	道明寺駅
乗降客数 (人/日)	平成15年	8,041人	7,308人
	平成13年	9,545人	8,862人
駅舎の構造		地盤からは橋上駅舎 (国道交差点からは地上レベル)	地上駅舎
エレベーター	道路～改札	(同一レベル)	(スロープあり)
	改札～ホーム	未整備	阿部野橋方面：(同一レベル) 檀原神宮方面：未整備(外部からのスロープあり)
階段（手すり、段鼻）		○	○
車いす対応自動改札 (90cm以上)		○	○
券売機	車いす対応	○	○
	点字表示	○	○
誘導・警告ブロック		○	○
点字案内図・触知図		未整備	未整備
誘導鈴・チャイム		未整備	未整備
ホームでの 運行情報	音声情報	○	○
	文字情報	未整備	未整備
ホーム上での 休憩施設	待合室	未整備	○
	ベンチ	○	○
車いす対応型トイレ		未整備	○
車いす対応公衆電話		未整備	未整備
備考		駅舎の改良及び駅前広場の整備予定	

藤井寺市では、平成6年度からが市内の公共施設を結ぶ「公共施設循環バス」を運行しており、北周りと南回りの2路線を2台で運行しています。当地区周辺の停留所は、支所（市民総合会館分館出入口前）市民病院（道明寺会館前）老人福祉センター（出入口前）にありますが限定された状況です。当地区には、民間のバス路線はありません。

公共施設循環バス路線図



6) 土師ノ里駅・道明寺駅への交通手段

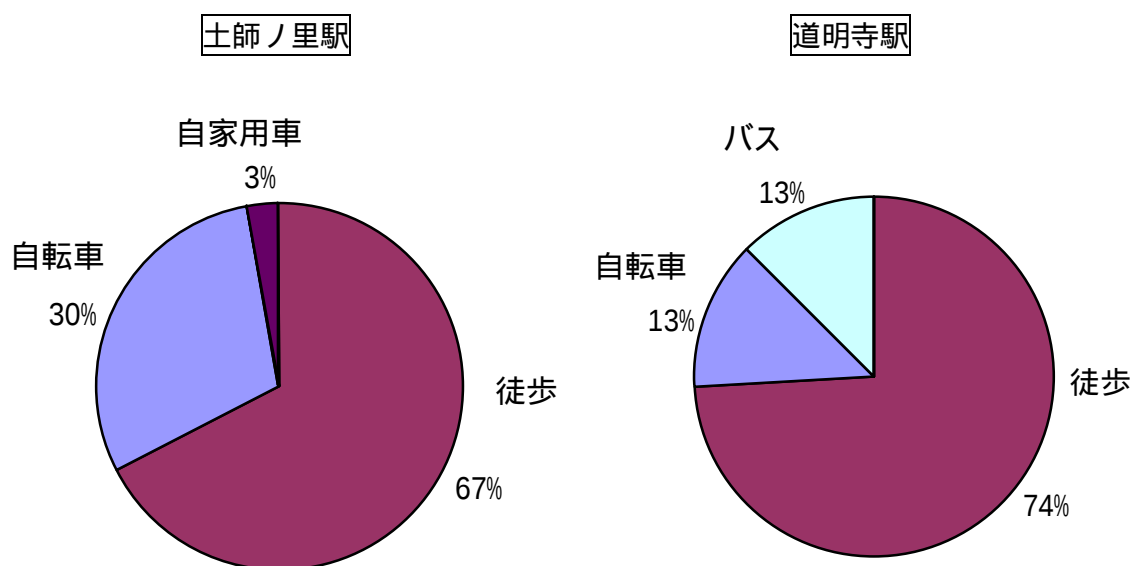
土師ノ里駅と道明寺駅へどのような交通手段で行き来しているかを「パーソントリップ調査」(平成12年)で見ると、下表のようになります。

土師ノ里駅へは、徒歩が6,717人と全体の67%を占め、自転車が2,982人、30%と、徒歩と自転車がほとんどです。

道明寺駅へは、徒歩が5,047人と全体の74%を占め、土師ノ里駅より比率が高くなっています。また、自転車が905人、13%となっています。

2駅とも徒歩で行き来する人が大部分を占めており、安全・安心に歩行できる歩道等が望まれます。

各駅へのパーソントリップの構成比率



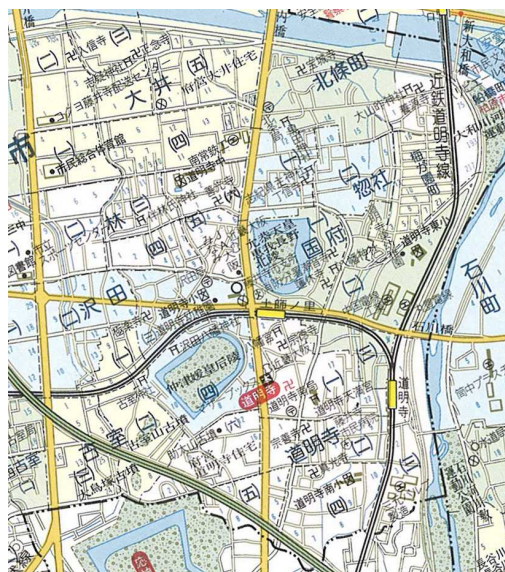
(乗降者計：平成12年値)

	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	タクシー	計
土師ノ里駅	6,717	2,982	0	0	286	0	9,985
(構成比率)	67%	30%	0%	0%	3%	0%	100%
道明寺駅	5,047	905	0	854	0	0	6,806
(構成比率)	74%	13%	0%	13%	0%	0%	100%
藤井寺駅	17,998	9,319	783	9,406	1,593	242	39,341
(構成比率)	46%	24%	2%	24%	4%	1%	100%

7) 地区の人口・高齢者数

当地区（下表に記載の町丁目）の人口は、全体では平成7年から12年にかけて横ばいで17年には減少となっています。また、鉄道の北部と南部を比べると、北部が18,230人、南部が8,054人と、北部の方が1万人以上多い状況です。12年から17年にかけて北部、南部とも減少しています。

65歳以上の高齢者は、北部が3,061人、南部が1,793人、合計で4,854人おり、12年から17年にかけて838人、24%と急増しています。また、高齢者の占める比率（高齢化率）は、北部で17%、南部で22%と、南部の方が高い状況です。



		人口				65歳以上高齢者					
		H7年	H12年	H17年 (A)	増減率		H7年	H12年	H17年 (B)	増減率	高齢化率 (B/A)
					12/7比	17/12比				17/12比	
鉄道 より 北部	旧 北条町	1,668	1,555	1,462	▲ 7 %	▲ 6 %	156	194	250	29 %	17 %
	170 船橋町	999	936	853	▲ 6 %	▲ 9 %	123	162	177	9 %	21 %
	号 梅が園町	1,176	1,117	1,073	▲ 5 %	▲ 4 %	202	246	291	18 %	27 %
	より 惣社1丁目	1,403	1,273	1,168	▲ 9 %	▲ 8 %	117	134	186	39 %	16 %
	東 惣社2丁目	1,064	979	977	▲ 8 %	▲ 0 %	153	188	230	22 %	24 %
	国府1丁目	856	799	764	▲ 7 %	▲ 4 %	106	138	160	16 %	21 %
	国府2丁目	983	970	920	▲ 1 %	▲ 5 %	101	134	170	27 %	18 %
	(北東部計)	8,149	7,629	7,217	▲ 6 %	▲ 5 %	958	1,196	1,464	22 %	20 %
	旧 大井1丁目	78	102	98	31 %	▲ 4 %	8	10	13	30 %	13 %
	大井2丁目	217	322	313	48 %	▲ 3 %	20	26	39	50 %	12 %
	大井3丁目	860	858	1,022	▲ 0 %	19 %	113	134	154	15 %	15 %
	大井4丁目	1,848	1,759	1,731	▲ 5 %	▲ 2 %	175	207	263	27 %	15 %
	大井5丁目	1,186	1,317	1,333	11 %	1 %	173	228	259	14 %	19 %
	林2丁目	1,109	1,413	1,368	27 %	▲ 3 %	54	74	94	27 %	7 %
	林3丁目	838	851	775	2 %	▲ 9 %	72	98	104	6 %	13 %
	林4丁目	486	532	550	9 %	3 %	81	86	99	15 %	18 %
	林5丁目	1,079	1,296	1,188	20 %	▲ 8 %	117	141	182	29 %	15 %
	林6丁目	472	387	402	▲ 18 %	4 %	58	68	74	9 %	18 %
鉄道 より 南部	沢田2丁目	1,485	1,493	1,539	1 %	3 %	93	117	156	33 %	10 %
	沢田3丁目	779	770	694	▲ 1 %	▲ 10 %	126	141	160	13 %	23 %
	(北西部計)	10,437	11,100	11,013	6 %	▲ 1 %	1,090	1,330	1,597	20 %	15 %
	北部計	18,586	18,729	18,230	1 %	▲ 3 %	2,048	2,526	3,061	21 %	17 %
	旧 古室1丁目	344	350	345	2 %	▲ 1 %	47	61	79	30 %	23 %
	170 国府3丁目	633	537	481	▲ 15 %	▲ 10 %	85	94	97	3 %	20 %
	号 道明寺1丁目	1,461	1,350	1,243	▲ 8 %	▲ 8 %	233	302	338	12 %	27 %
	より 道明寺2丁目	753	670	831	▲ 11 %	24 %	130	139	178	28 %	21 %
	東 道明寺3丁目	178	157	144	▲ 12 %	▲ 8 %	25	31	44	42 %	31 %
	道明寺4丁目	1,115	1,204	1,120	8 %	▲ 7 %	120	148	184	24 %	16 %
	(南東部計)	4,484	4,268	4,164	▲ 5 %	▲ 2 %	640	775	920	19 %	22 %
	旧 道明寺5丁目	641	650	621	1 %	▲ 4 %	70	90	112	24 %	18 %
	170 道明寺6丁目	1,037	1,151	1,119	11 %	▲ 3 %	205	280	329	18 %	29 %
	号 沢田4丁目	1,063	1,004	916	▲ 6 %	▲ 9 %	138	182	209	15 %	23 %
	より 古室2丁目	498	457	455	▲ 8 %	▲ 0 %	80	86	111	29 %	24 %
	古室3丁目	744	836	779	12 %	▲ 7 %	46	77	112	45 %	14 %
	西 (南西部計)	3,983	4,098	3,890	3 %	▲ 5 %	539	715	873	22 %	22 %
	南部計	8,467	8,366	8,054	▲ 1 %	▲ 4 %	1,179	1,490	1,793	26 %	22 %
地区合計		27,053	27,095	26,284	0 %	▲ 3 %	3,227	4,016	4,854	24 %	18 %
全市(平均)		67,215	67,635	66,489	1 %	▲ 2 %	8,366	10,404	12,352	24 %	19 %
全市に対する地区の比率		40.2%	40.1%	39.5%			38.6%	38.6%	39.3%		

8) 身体障害者数

本市における身体障害者手帳所持者の人数は、下表のとおりです。

藤井寺市の身体障害者手帳所持者数（平成16年度末現在）

	人 数
視覚障害者	2 1 1 人
聴覚障害者	1 7 4 人
言語障害者	3 6 人
肢体不自由者	1 , 4 3 9 人
内部障害者	6 3 6 人
合 計	2 , 4 9 6 人

9) バリアフリー化検討のための視点の整理

当地区においてバリアフリー化を検討するにあたり考慮すべき視点を以下に整理します。

市中心部との「移動ネットワーク」のバリアフリー化の促進

市民が主に利用する公共施設等は、現在、藤井寺駅周辺に多く立地しているため、当地区住民がこれらの施設を利用するには主として鉄道やバスを利用する必要があります。このため、鉄道の駅舎を利用しやすくするとともに、バス停をより身近に設置してコミュニティバスを運行するなど、高齢者や障害者等が乗りやすく移動しやすい交通ネットワークをつくりバリアフリー化する必要があります。

また、土師ノ里駅の改良整備や駅前広場の整備予定を踏まえた5年後を想定した計画を考える必要があります。

高齢者の急増を見越した地区内生活環境の向上

両駅周辺地区は、今後、高齢化がますます進み、高齢障害者の増加も見込まれる状況にあるため、将来を見据えた検討を行うことが求められます。バリアフリー化の検討に際しても、移動環境の整備改善等を通じて、成熟期にふさわしい生活環境づくりや地区内でのふれあい交流の活性化に貢献していく視点が求められます。

歴史的環境を活かした観光振興

道明寺天満宮、道明寺、多くの古墳群、東高野街道など由緒ある歴史文化を有する当地区において、これらを活かすためには観光客や来街者等にも配慮した、安全でわかりやすい移動空間やいい空間づくりをめざす視点が必要となります。

まちづくり全般との連携

バリアフリーのまちづくりの検討にあたっては、交通、福祉、観光、商業など多様な分野が連携し、地区の移動環境を総合的に捉える視点が重要です。また、ハード、ソフトの両面からの検討や多様な主体の連携による総合的な検討が求められます。